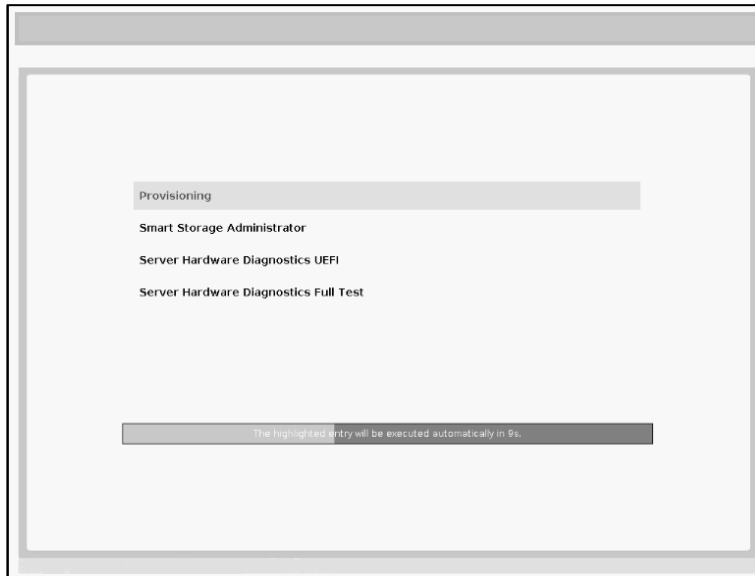

メンテナンスガイド補足

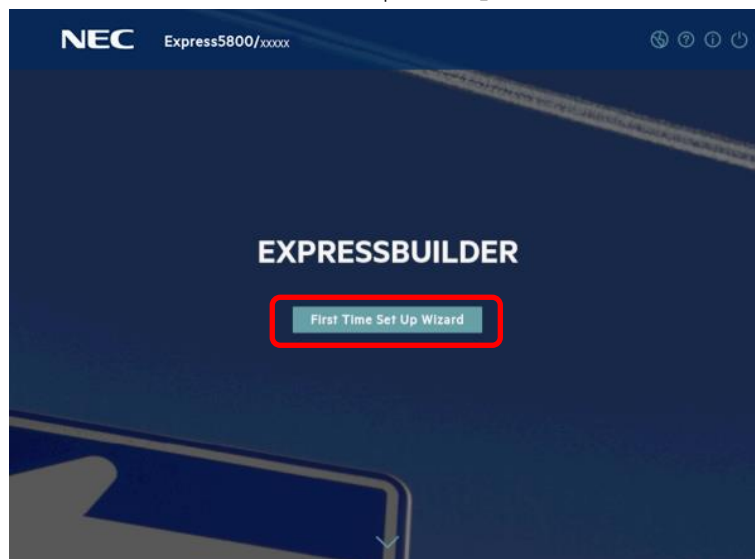
1. EXPRESSBUILDER の起動

1. 本機の電源をオンにするか、または<Ctrl> + <Alt> + <Delete>キーを押して再起動させます。
2. POST 画面で<F10>キーを押します。

以下のメニューが表示されます。



3. メニューから「Provisioning」を選択します。
4. 「メンテナンスの実行」から環境クリア後、または初回起動時は、EXPRESSBUILDER の動作環境を設定します。
 - (1) 以下の画面で、「First Time Set Up Wizard」をクリックします。



- (2) 以下の画面では、「インターフェイス言語」(デフォルトの英語表記時は「Interface Language」)、「キーボード言語」、および「タイムゾーン」を使用環境に合わせて設定し、次へ進みます。その他の設定は変更しません。「タイムゾーン」がグレイアウトして変更不可のときは、そのままの設定で次へ進みます。

The screenshot shows the NEC Express5800 BIOS/UEFI setup screen. The title bar displays 'NEC Express5800/XXXXXXXX'. The main heading is '言語およびタイムゾーンを選択します' (Select language and time zone). There are four dropdown menus: 'インターフェイス言語:' (Interface Language) set to '日本語', 'キーボード言語:' (Keyboard Language) set to '日本語', 'ブートBIOSモード' (Boot BIOS Mode) set to 'UEFI最適化ブート', and 'タイムゾーン' (Time Zone) set to 'UTC-00:00、グリニッジ標準時、ダブリン、ロンドン'. Below these are fields for 'システム日付' (System Date) set to '2023/01/14' and 'システム時刻' (System Time) set to '14:44:56'. A toggle switch for 'フィードバックを有効にする' (Enable feedback) is currently off. A '次へ' (Next) button is highlighted with a red box at the bottom center.

- (3) 以下の画面では、エンドユーザーライセンス(EULA)を読み、チェックボックスをチェックした後、次へ進みます。

The screenshot shows the NEC Express5800 BIOS/UEFI setup screen for the EULA. The title bar displays 'NEC Express5800/XXXXX'. The main heading is 'EULAをお読みください' (Please read the EULA). The section is titled 'ソフトウェアのご使用条件' (Software Usage Conditions). The text explains that the user is agreeing to the terms of use for the software. Below the text, there are four numbered items (a, b, c, d) detailing the usage conditions. At the bottom, there is a checkbox labeled 'EXPRESSBUILDER EULAを承認' (I agree to the EXPRESSBUILDER EULA), which is highlighted with a red box. Below the checkbox are two buttons: '前へ' (Previous) and '次へ' (Next), with the '次へ' button highlighted by a red box.

- (4) 以下の画面では、使用環境に合わせて電力およびパフォーマンスのワークロードプロファイルを設定します。その他の設定は変更しません。

選択したプロファイルは、システムユーティリティの「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU)」の「Workload Profile」の設定に反映されます。詳細は、メンテナンスガイド(共通編)の「1 章 システムユーティリティ」の「ワークロードプロファイル」を参照してください。

NEC Express5800/XXXXX

サーバーを自動的に最適化します

このサーバーを使用する目的は何ですか?

一般的な電力効率コンピューティング

☒ F10機能を有効にする - これはアクティブにしておくことをお勧めします

☐ この製品の改善に役立つ匿名の使用状況およびエラーフィードバックを提供します。個人データは収集されず、第三者と共有されることはありません。詳細は、ユーザーガイドを参照してください。

☐ このシステムへのソフトウェアおよびファームウェアアップデートの自動適用を有効にします

前へ 次へ



チェック

ここでは、ワークロードプロファイルに「Custom」を指定できません。ご使用のモデルによっては、本体装置にデフォルトで「Custom」が設定されていることがあります。その場合、ここでは「一般的な電力効率コンピューティング」を選択して、「First Time Set Up Wizard」の設定を完了後、システムユーティリティから「Custom」設定に戻してください。詳細は、メンテナンスガイド(共通編)の「1 章 システムユーティリティ」の「ワークロードプロファイル」を参照してください。

- (5) 以下の画面では、設定を変更せずに次へ進みます。

NEC Express5800/XXXXXX

ネットワーク設定

アップデートとインストール用のネットワークインターフェイスを選択してください

eth0 HPE Ethernet 1Gb 4-port 331i Adapter - NIC - FC:15B4-97:8C:28

☐ プロキシを使用

Webプロキシサーバー

http://

ポート

8080

Webプロキシサーバー

http://

ポート

8080

☒ DHCPの自動構成 ☐ IPv6

静的IPv4

ネットワークマスク:

ゲートウェイアドレス:

プライマリDNSサーバー

セカンダリDNSサーバー

前へ 次へ

- (6) 以下の画面では、設定を変更せずに「送信」をクリックします。ここでは、iLO の現在の設定が表示されるため、画面の表示は環境によって異なります。

NEC Express5800/XXXXX

iLOネットワークの構成

☒ DHCPの自動構成

静的IPv4
XX.XXX.XXX.XXX

ネットワークマスク:
XX.XXX.XXX.XXX

ゲートウェイアドレス:
XX.XXX.XXX.XXX

プライマリDNSサーバー
XX.XXX.XXX.XXX

セカンダリDNSサーバー

前へ 送信

- (7) 以下の画面では、「はい」を選択して設定を保存してください。

? 確認

よろしいですか? 続行してすべての設定を保存します。

キャンセル はい

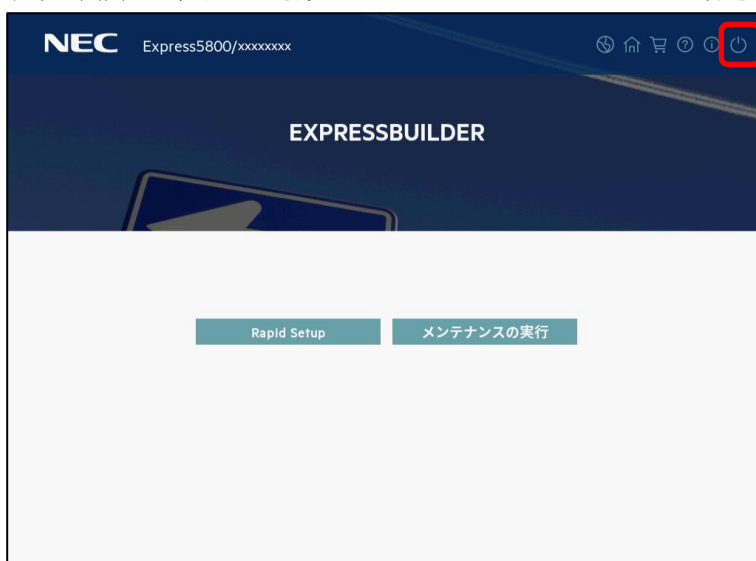
- (8) 以下の画面では、「OK」をクリックして次の画面に進みます。

! EXPRESSBUILDER環境設定

設定を有効にするためにシステムをリセットしてください。

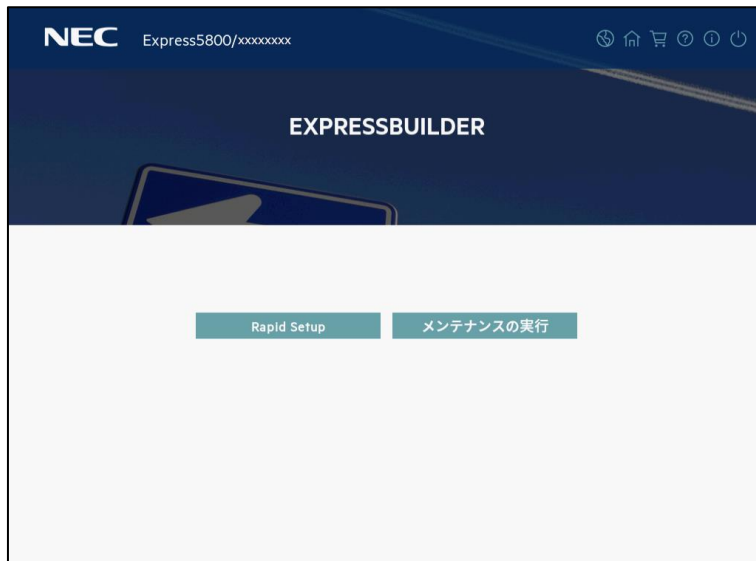
OK

- (9) 以下の画面では、右上の電源アイコンをクリックしてサーバーを再起動してください。



2. EXPRESSBUILDER のメニュー

EXPRESSBUILDER は、画面上のメニューから操作します。



a) Rapid Setup

OS のインストールを実施します。詳細は、「インストレーションガイド(Windows 編)」を参照してください。

本機能を使うと、インストール先ディスクのパーティションをクリアし、全データを削除してからセットアップを進めます。

b) メンテナンスの実行

以下の保守用のツール等を個別に起動します。

(1) EXPRESSBUILDER 環境設定

「1 EXPRESSBUILDER の起動」の手順 4 で設定した環境を再設定できます。

(2) Active Health System ログ

外部メディア等へ、故障時の解析などで使用する AHS ログを保存できます。

(3) 展開設定

サーバーのインストール設定を多数台へ展開することができます。

(4) BIOS/プラットフォーム構成

BIOS の設定ができます。

(5) iLO 構成

iLO の設定ができます。

(6) システムの消去およびリセット

環境設定の消去、およびハードディスクドライブの消去ができます。

「すべてのハードディスクドライブ」を選択すると、外付けを含め、サーバーに接続しているすべてのディスクの内容を消去します。また、「ハードドライブのワイプ」を選択すると、すべてのディスクに対し、全セクタにランダムパターンを数回上書きしてデータを完全に消去します。



本機能を使用してディスクを消去した場合、ディスクに記録されたデータは復旧できません。また、「ハードドライブのワイプ」を実行すると、接続したディスクの容量によっては、終了まで数日かかる場合があります。

(7) One-button セキュア消去

サーバーを初期状態に戻します。

本機能は、iLO に搭載済みの機能と同等です。詳細は、「iLO5 ユーザーズガイド」の「19. ライフサイクル管理」を参照してください。

(8) RAID の構成

RAID の構築、設定を GUI で実施できる Smart Storage Administrator (SSA)を起動します。